

2010年

11月6日（土曜日） 笑いと健康と高齢化社会の光

- 「百歳バンザイ！！推進 第3回健康大長寿のさとづくり全国大会」 -

今回の大会は、第3回目を迎えますが、来年本番を迎えます「第26回国民文化祭京都大会」のプレイベントと位置付けられました。この大会、“喜ぼう高齢化社会 感謝しよう長寿社会”を高く掲げて、広く進む高齢化社会の社会的負担の側面の解決促進はもちろんですが、むしろ高齢化社会の光の側面にもっともっと社会的に感謝を寄せて、老いや長寿をますます喜び楽しんでいこうと、開催をしているものですが、今回のテーマは「笑いと健康」。

「笑う門には福あり」とか「笑いは百薬の長」とか申しますが、笑いは、健康という高齢化社会の医療や介護などの負担の側面の課題解決に直結するものであるとともに、喜びや楽しみの表現そのもの、言い換えれば高齢化社会の光の側面の象徴でもあると思います。

そういう意味で、笑いは百歳長寿、健康長寿推進の大きなキーとなるものであり、また併せて、文化の営みの象徴的な生理的現象でもあると思いますときに、国民文化祭のプレイベントとしてまさしくふさわしく、意義深いことです。

日本は、高齢化の先進国です。このことを利して受け止めて、ぜひとも、今後とも高齢化社会の光がますます発せられるまちづくり、社会づくりをみんなで進めて、高齢化や長寿社会を地球社会の中で肯定的にけん引していくエンジンになっていこう。そのための弾みとなるような国民文化祭にしていきたい。